

名古屋工業大学巴会々報



平成 29 年 5 月
No. 50

名古屋工業大学機械工学科内 巴会本部
〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町
巴会庶務担当 田中 由浩 准教授 Tel (052)735-7443
ホームページ: <http://tomoe.web.nitech.ac.jp/>

巻頭言



【時代は「所有」 から「利用」へ】

巴会会長
大西 一 (S49)

若者の車離れということが言われて久しいが、インターネット、スマホの普及で人々がリアルな世界から離れ、バーチャルな世界で過ごす時間が増えている。車だけでなく、家具も衣服も自分で所有するものでなくなり、家は所有を諦めるというより所有の必要がなくなっている。食べる物は、コンビニやファーストフードの店に行けば手に入るの、冷蔵庫も不要であり、ニュースも映画もスマホで見えるので、テレビも必要では無く、本もスマホがあれば、いつでも読めるので、本棚も必要なく、家の中にはほとんどものが無い。

また、物を所有しない為に、生活に多くのお金が必要では無く、バイトや非正規で十分に生活出来る。そして、この生活スタイルの時代を、私は「新・縄文時代」と呼んでいるが、生きる為に、職を求めて都会に出、職がなくなれば新たな職を求めて移動する。地方消滅の問題もこの流れの中で生じている。かつての「縄文時代」と同じ生活スタイルになっている。しかし、この生活スタイルをすることを非難することはできない。これまで高額であった情報通信料がほぼ無料になり、ものやサービスの値段がどんどん安くなっている現在

社会では、お金をたくさん持つことに意味がなくなっているからである。お金や物を持つことに価値がなくなれば、行きつく当然の成り行きである。そして、今後益々、ものとサービスの値段が下がっていくので、「新・縄文時代」の住民は増えていくと思う。

しかし、こういう社会になっても、「もの」が必要であることに変わりはない。パソコンもスマホも生産する必要があり、車が自動運転になっても、車は必要であり、家も必要である。さらに、IoTの時代になると、センサーが大量に必要になり、ここから得られるビッグデータの解析に関係する産業は飛躍的に発展すると思われる。ただ、少子化の日本では、人口が今後激減していくので、量は減少していくのは避けられず、ものづくりの世界の競争は益々激しくなり、更に、環境対策も待ったなしで、リユース、レンタルに対応する機能と信頼性の高い商品の開発が求められ、科学者、技術者の役割は今まで以上に高まっていく。

一方、今話題の自動運転については、日本は欧米や中国に対して開発が遅れていると言われている。もう一つの話題のドローンについては、中国で人の移動が可能になる技術が開発され、商品化が進んでいると言われている。AIについても同じような状況である。周回遅れの日本が巻き返す為には、若い技術者への期待が大きい。しかし、自動運転車やドローンは非常に高額な商品の為、「新・縄文時代」の住民の購買に繋がらないので、なにより重要な事は、新しい技術を活用した魅力ある商品を創造する事である。名工大出身技術者の今後の活躍を大いに期待する。

ともえ50号を祝して

巴会顧問 服部 桂 (S41)

ともえ50号の発刊をお祝い申し上げます。巴会は、機械工学部の卒業生・在校生・教官の3者の親睦を図る目的で1905年に設立され、永年にわたりその活動が引き継がれ、在校生への支援の他、卒業後も先輩方から様々なサポートがなされてきました。110年以上の歴史の中、巴会会員の努力が、日本の産業界の活性化をもたらしたと自負して良いでしょう。さて、昨今はイギリスのユーロ離脱から始まり「〇〇ファースト」という、自国利益を優先する保護主義が世界各国に蔓延しようとしてい

ます。そのことが、宗教や人種間紛争を助長することを危惧してやみません。私たちは、技師の卵として社会に旅立ち、技術を通して社会に貢献する使命を持っています。時には、工大の愛唱歌の一節にある「技師は技師でも武器はつくらぬ、平和の技師よ」と歌った頃を懐かしむことがあります。学舎で培った知見と志を大切に、巴の絆を繋いで世界に羽ばたき、平和に貢献していただきたいと願っています。

2016年総会講演会資料（平成28年6月18日）

長野靖尚先生を偲んで

— 乱流伝熱研究の50年 —

名古屋工業大学 大学院 電気・機械工学専攻

教授 田川正人 熱移動工学研究室



長野靖尚先生

2016年6月18日に開催された巴会総会の特別講演会において、2015年6月6日に逝去されました名古屋工業大学名誉教授長野靖尚先生（享年73）を偲ぶとともに、長野先生が半世紀にわたり全身全霊を傾けて研究された「乱流伝熱」の業績ならびに教育や社会的活動におけるご功績を筆者が講師として紹介させていただきました。講演会のテーマは、長野先生と同級生で2009～2012年度の巴会会長を務められた服部桂氏のご発案で決まりました。長野先生は筆者の恩師であり、先生のご指導のもとで学位をいただき、研究室の助手として駆け出しの10年を導いてくださいました。表題にある「乱流伝熱」は伝熱工学の専門用語です。流体の流れは、変動しない静かな「層流」と時空間的に変化する「乱流」に大別でき

ますが、一般に、乱流の熱輸送は層流のそれと比較して桁違いに大きくなります。この伝熱増進のメカニズムを解明し、乱流中の熱の輸送現象を予測する技術を確立することが乱流伝熱研究の主な目的です。

長野靖尚先生は、戦中の1943年9月15日に三重県にお生まれになりました。1966年に本学機械工学科をご卒業後、東京大学大学院工学系研究科に進学されました。1968年に日本電装株式会社（現在、株式会社デンソー）に就職された後、本学生産機械工学科教授の菱田幹雄先生（故人）の研究室に助手として着任されました。その後は一貫して乱流伝熱の研究に従事され、講師（1976年）、助教授（1978年）、英国インペリアルカレッジおよび米国スタンフォード大学の客員研究員（文部省在外研究員、1981年）を経て、1984年に教授に昇任されました。この間、1977年には「円管内乱流境界層の速度ならびに温度場の実験的研究」の題目で工学博士（名古屋大学）の学位を授与されました。

教授ご昇任後も教育研究に邁進され、数多くの学生を指導するとともに顕著な研究業績を残されました。研究室から27名に上る博士が巣立ったことからその一面が伺えます。出過ぎたことですが、長野先生の教育研究活動を支えていたものを一言で表すならば、「情熱」だと思います。研究を強力に推進する、人をやる気にさせて成長を促す、重要な仕事を任せて人を育てる、など様々な場面で先生の情熱を感じる事が多々ありました。

ご定年前の10年間は、大学や学会等の組織運営や様々な会議に多くの時間を割かざるを得ない状況でしたが、教育研究への情熱は不変でした。この時期に、本学学生部長（1999年）、第二部主事（2003年）、副学長（2004年）を務められた後、2004年から2006年に国立大学法人化に伴って設置された理事職を拝命され、激動する大学運営の牽引役として大任を果たされました。その後は、本学プロジェクト特任教授として研究の第一線に復帰され、先年に助成を受けた科学研究費補助金基盤研究Sの最終審査（公表）でまさに有終の美を飾る高い評価を獲得されました。

研究者としては、下記の受賞歴に示すように、乱流伝熱の実験と数値計算の両分野で顕著な業績を残されました。

- ・日本機械学会賞（論文賞）（1988）：「乱流の組織構造と熱輸送」
- ・日本伝熱学会賞（学術賞）（1992）：「速度とスカラーの三重相関乱流モデル」
- ・流体科学研究賞（2001）：「乱流の準秩序構造の解明と乱流モデルの構築」
- ・日本機械学会 熱工学部門 研究功績賞（2003）
- ・日本機械学会賞（論文賞）（2004）：「実用的な

- ・LESのための混合時間スケールSGSモデル」
- ・日本機械学会 名誉員（2009）
- ・日本機械学会 熱工学部門 国際功績賞（2010）

長野先生は学会活動にも精力的に取り組まれました。日本機械学会では、熱工学部門長（2000年）、理事（2001～2002年）を、日本流体力学会では、副会長（2000年）を経て会長（2001年）を務められました。また、日本伝熱学会では、東海支部長（1999～2001年）、副会長（2002年）、会長（2009年）を歴任され、日本冷凍空調学会では理事（1993～2000年、2003～2007年）を務められました。国際的な研究活動も活発に展開され、数々の国際会議の組織委員等を歴任されましたが、International Symposium on Turbulence, Heat and Mass Transfer（乱流、熱・物質移動に関する国際会議）の共同議長を、オランダデルフト工科大学のHanjalić教授とともに2000年の名古屋開催から2012年のイタリア、パレルモでの開催まで務められ、国際的にも乱流、熱・物質輸送現象の研究の進展に寄与されました。

以上のように、長野先生は研究、教育、社会貢献、国際的な活動などに大きな足跡を残されました。その功績に対して、2015年6月6日に瑞宝中綬章および正四位が授与されました。ところが、長野先生の共同研究者であり巴会の活動にも多大な貢献をされた辻俊博先生（本学名誉教授）が2016年9月1日に逝去されました（享年68）。乱流伝熱の研究を先導し、レベルの高い研究成果を世界に発信し続けてこられたお二人の先生が相次いでお亡くなりになったことに、深い悲しみと寂しさが募ります。長野靖尚先生と辻俊博先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。



研究室でのひととき（中央が長野先生）



クラス写真（卒業アルバムから、1966年）

関 東 支 部 便 り

関東支部から平成28年度の活動報告です。

巴会関東支部は名古屋工業会東京支部の下記行事に参加しています。

1. 名古屋工業会東京支部総会及び巴会秋の集い

平成28年11月26日(土)に中野サンプラザにて開催され、全体で約150名の参加者でした。来賓祝辞で鶴飼学長から「名古屋工業大学の近況」が報告され、女性の学生が17%になっていること、また教員の実力値で名工大の教員が発表した論文の他研究者による引用ランキングが全国1位であることなどが紹介されました。水嶋名古屋工業会理事長(M42)からは卒業生との交流・連携について更に活発に活動する決意を述べられました。総会後の講演会では「いつか、あたりまえになることを。」と題して、(株)NTTドコモ取締役相談役の加藤薫様(Es50)より40枚ものスライドで説明がありました。この20年間で記憶容量や通信速度が数十万倍に伸び、さらにAIの進化で近未来にはITが人間の耳、口、目、心の役割を補助するようになるであろうとのお話でした。その後の懇親会ではOB等による管弦楽団の演奏をバックに、各科ごとのテーブルを中心に立食形式で先輩後輩が楽しく歓談しました。水嶋理事長(M42)も巴会のテーブルに立ち寄られ楽しくひと時を過ごされました。今回初めての試みでしたが、懇親会後に同ホテルの別室で行われた巴会関東支部の秋の集いでは、名古屋から名工大大学院教授の北村憲彦教授(M56)をお招きし、18名が参加しました。教授から最近の名工大機械系の状況で就職率の良いこと、女性の学生が増えていることなどのお話をいただきました。また、参加者全員から近況報告がありました。

そのほか、ごきそサロン、エクスカッションや、囲碁、ゴルフに個々に参加しています。

2. ロボコン工房支援

今年も引き続き支援を行うため巴会関東支部内に「NITロボコン支援会」を置いております。

①金額 5000円/口(複数歓迎)

②振込先 株式会社 ゆうちよ銀行

口座番号(記号)10240(番号)58516421

契約者 エヌアイティロボコンシエンカイ

平成28年度は22名の方から162,000円のご寄付がありました。7月にロボコン工房へ送金しました。このロボコン工房は機械科だけでなく多くの学科の学生の集まりですので、巴会だけでなく、知り合いの卒業生にも是非声をかけてください。

問合せメールアドレス：M46北野

y-kitano@jcom.zaq.ne.jp

3. 単科会相互の交流会

単科会活性化の目的で、平成27年から始めた電影会(電気系学科)との第2回交流会を、深川の門前仲町の居酒屋で平成28年7月15日開催しました。参加者は電影会8名、巴会7名、計15名と予想を下回りましたが、相互の会員同士の親睦を深めることができました。「継続は力なり」をモットーに、第3回交流会を平成29年6月頃開催予定です。Eメールにてご案内させていただきますので、東京近郊の方は是非とも参加していただきたくお願い致します。

問合せメールアドレス：M49福岡

tymdk699@ybb.ne.jp

(M47 松浦 明人、関東支部長)



巴会関東支部の秋の集い

関西支部便り

平成27年度事業報告(2015.4.1~2016.3.31)

(1) 平成27年度「巴会関西支部総会」

参加者30名

7月4日(土)15:30から3年連続の「料亭天王殿」で開催した。講演会は、名工大大学院おもひ領域の松本健郎教授から「バイオメカニクス = 生命現象の解明から動脈硬化診断への応用まで」と題し、臨床応用に向けた取組みの現状と課題など、医学と機械工学の連携と融合の最前線が話された。血管の解析に水力学が利用でき、病理治療に機械工学が豊富に利用されており、高齢化が進行する中で「ここまでできるのか」と感激するとともに、機械工学領域の拡大を再認識した。参加者から沢山の質問の声が上がった。

総会では、H27年度活動報告、H28年度活動計画が承認された。懇親会は、M33堀田先輩のご発声による乾杯でスタート。美味しい会席料理を堪能しながらビールやお酒もたっぷり。参加者全員から近況報告を披露した。M28三宅先輩の中締めで、楽しいひと時を送った。MH26卒業生2名参加したが、若手中堅の参加が少なく、対策が必要。

(2) 第4回海外同窓会：中国東北部ハルビン市・大連市 参加者6名

9月13日-17日に中国東北部ハルビン市・大連市を、参加者6名(関西4、名古屋1、家族1)で訪問した。関空から大連白雲空港に飛び、高速鉄道(高鉄：新幹線)は大連-ハルビン最速特急で3時間・900kmの旅。帰りは各停特急で5時間。高鉄は日本とほとんど同じ軌道・給電装置で、直線部分が大半、トンネルや長い橋梁は無い。線路の両側は小麦・米・トウモロコシ畑が延々と続く広大な平原。大連-瀋陽間の丘陵には1500kW級の風力発電が林立。

ハルビン市はロシア人が造った都市で、ロシア式建造物や地下道が多い。現在はロシア人少。氷雪祭りで有名な太陽島の散歩、旧京劇劇場でのロシアショウ、ハルビン大和ホテルなどを見学。ハルビン工科大学・医科大学・旧市庁舎は日本の建造物を利用など、中国の他都市とは雰囲気異なっ

ていた。大連市では建替えが進む旧日本人住宅街、大連港一望だが観光客の少ない203高地、修復中の大連大和ホテルでは修復費用捻出のために日本人接収の美術品特売、など。中国大都市で進む不動産バブルのビル・マンション群建設が、大連市でも進行中。

(3) 平成27年度名古屋工業会大阪支部総会と大阪支部活動

9月26日14:00-19:00に大阪弥生会館で、91名の参加のもと開催された。講演会・見学は梅田スカイビル(原 広司氏設計、竹中工務店施工で1993年竣工。2008年世界代表建造物トップ20に選定)で開催。A38吉永 深氏(竹中工務店元常務)から「梅田スカイビルのリフトアップ工法」の講演があり、世界初のツインビルを連結する大規模建造物のリフトアップの構想と現場指揮の苦勞を述べられた。2016年に竣工した天王寺あべのハルカスピルの現場監督も名工大OBであり、先輩の活躍に誇りを感じた。

(4) 巴会関西支部の懇親ゴルフコンペ(9月秋は中止)

平成28年3月26日(土)に大津カントリークラブ東コースで開催、11名参加。優勝はM57数坂氏。

(5) 平成28年「第9回新年懇話会」参加者30名

平成28年1月23日(土)11:00-14:00に、明石海峡大橋のたもとの垂水温泉「太平の湯」で開催、参加者17名。有馬温泉と同じ金泉・銀泉効能の湯、露天風呂、各種内湯を楽しんだ後、宴会場へ移動。M43堀内先輩から「国内貨物輸送とトラック」と題し、トラック輸送の担う重要性和現状、今後の課題と経営者としての悩みなどの話を伺った。快晴の明石海峡を眺めながらの食事とアルコールに満足して解散。希望者で歌聖「柿本人麻呂」を祀り、夫婦和合の神として知られる「柿本神社」へ初詣後、明石駅前「魚の棚」商店街で買い物して解散した。

平成 28 年度事業報告 (2016.4.1~2017.3.31)

(1) 平成 28 年度「関西支部総会・懇親会」

参加者 28 名

平成 28 年 7 月 9 日 (土) 15:00~19:00 に京都木屋町筋「がんこ高瀬川二条苑」(元明治元勲 山県有朋の別邸) で開催。今回は外人にも人気の高い二条苑の素晴らしい日本庭園・調度品・和食の鑑賞を兼ねて、総会を開催。学内報告、H27 年度行事・決算、H28 年度予定・予算案を提案し、異議なく承認された。母校学生生活動支援金の贈呈が滞っていた件は、今年度に一括して寄贈することで了解された。懇親会に移り、料理とセットになった舞子コースで京料理膳と日本酒・ビールを楽しみながら、なり立ての 15 歳の舞子さんと記念写真(孫と祖父?)。H26 年卒を筆頭に S50 年卒以降のメンバー 6 名も参加、徐々に若返りの風を感じている。

(2) 第 5 回海外同窓会：ミャンマー (ヤンゴン・チャティーヨー・バガン)

10 月 8~12 日に、タイ航空 関空発バンコク経由 ヤンゴンまで 4+1 時間の飛行。入国ビザが必要。参加者 11 名(関西 8 名、名古屋 2 名、家族 1 名)。ツアーガイドはヤンゴン大学卒業生で農学博士、本業は企業設立コンサルタントと NPO 活動、1 年に 2ヶ月は仏門で修業。ガイドの制服は白シャツとロンジン(腰巻)にスリッパ。スーチー国家顧問による社会科改革は速度が遅く、将来計画を聞くと「ミャンマー人に明日はない、あるのは今日だけ」とニヒルな答え。ヤンゴン市は英国統治時代の都市計画そのまま交通網が未発達ゆえ、朝夕のラッシュはものすごい。政治の中心がネピドーに移ったためヤンゴン中心街に利用空間が広がり、再開発可能。ゴールデンロックで有名なチャティーヨーへは双発機で行き、日産ディーゼルのトラックバスで屈曲山道を猛スピードで飛ばされた。世界遺産の古代寺院群バガンは 5 階建て以上の建物は禁止。最近の地震で近年補修した部分が倒壊、古い部分は無事とか。竹中工務店ヤンゴン支店長から現地事情を拝聴。発展の可能性が大きい、軍政時代の学制崩壊の立て直しが急務、ODA の工場団地・港建設が進展し、日本企業の進出が盛んなど、参考になった。

(3) 平成 28 年度名古屋工業会大阪支部総会 (担当 巴会) 参加者 80 名

11 月 19 日 (土) 15 時~19 時、大阪肥後橋 北京料理「徐園」で開催。来賓は M42 水嶋工業会理事長、内藤常務理事、F52 鶴飼名工科大学長。J62 犬塚信博教授・副学長から「名工大の教育改革と 6 年一貫創造工学教育課程」と題した講演があり、文科省が要求するグローバル大学・大学院に対応した母校の現状と目指す姿を紹介された。今年が 6 年一貫教育コース初年度であり、学生だけでなく教員も相互研修で教育・研究の質を高める努を紹介。OB から積極的な質疑がなされた。理事長・学長から OB との連携・名古屋工業大学基金への支援の要請があった。

総会では C44 木越支部長の司会の元、H28 年度活動報告・決算・監査報告、H29 年度活動計画・予算案の提案・承認がなされた。役員改選があり、支部長は 5 年間務めた C44 木越氏から A46 岡崎氏に交代が承認された。副支部長 3 名中 2 名が退任。新執行部は大半が新顔となり、各人は抱負を述べた。

懇親会に移り、M28 三宅先輩(名工大 1 期生)の乾杯の音頭で開始。昨年と同様に大阪大学ペリダダンスサークルによる素敵なダンス演舞が華を添えた。総会に先立ち、大阪中之島地区歴史的建造物・公共建造物見学会が行われ、中央公会堂、東洋陶器美術館、大阪市役所、日銀大阪支店などの外見を見つつ、A46 岡崎氏の解説を受けた。

(4) 懇親ゴルフコンペ

- ・平成 28 年 9 月 17 日 (土) 大津カントリークラブ 東コース。参加 11 名。優勝 M43 石樽氏。
- ・平成 29 年 3 月 25 日 (土) レークフォレストリゾート バード・スプリングコース。

(5) 平成 29 年「第 10 回新年懇話会」

参加者 15 名

平成 29 年 1 月 28 日 (土) 11:00 から「箕面温泉 スパーガーデン」で、春を思わせる陽射しのもとで開催。「美人の湯・美肌の湯」の広々とした天然温泉で温まったのち、大阪平野を一望できる部屋で懇親会を開始。M45 掛田氏から「昔のナンバ歩きで全国を歩く」と題し、古今東西の種々歩き方の解

説とウォーキングの楽しさについて話題提供。初参加のMH09腰山氏を含め近況報告しつつ、お酒と食事を楽しんだ。食事後に希望者で、箕面大滝までの坂道を散策して解散した。

(6) 名工大フォーミュラプロジェクト支援

名工大フォーミュラプロジェクトへの奨学寄附金50万円は、12月13日に名工大の口座に振込。学長名の感謝状を受領した。

(M45 関西支部長、掛田健二)

巴会運営便り

- 平成28年6月18日、学内において平成28年度巴会理事会・総会が開催され、全議案が承認されました。総会後の講演会では、名古屋工業大学大学院 電気・機械工学専攻の田川正人教授をお招きし、演題「長野靖尚先生を偲んで～乱流伝熱研究の50年～」について、ご講演を拝聴しました。長野先生に心より哀悼の意を表したいと思います。
- 平成28年10月21日に理事会が開催され、28年度の活動計画について議論・報告がなされました。
- 平成29年4月21日に理事会が開催され、28年度の活動実績について報告がなされました。また、28年度決算案、29年度活動計画・予算案、理事交代等について協議・報告がなされ、新年度総会への対応・準備を行いました。
- 平成29年3月23日に、巴会主催の巴会賞授与式および卒業記念パーティーが開催され、大西一會長、辻秀武副会長、近藤邦治監事をはじめ、多くの先生方並びにOBの参加で盛大なパーティーとなりました。

(藤井 郁也、平成28年度 巴会庶務担当)

訃報 (次の方々のご逝去を悼み、心からご冥福をお祈り致します。)

S12 坪内 典正	S20 加藤 光一	S23 早川 喜久治	S31 瓜生 利一	S38 足立 正昭
S13 二村 正雄	S20 杉山 守	S23 本田 善昭	S31 大河内 禎一	S39 宮下 健次郎
S14 中山 泰喜	S21 菊森 隆治	S23 安井 考英	S31 小川 政夫	S40 楠 秀磨
S16 田坂 平一郎	S21 纈纈 義信	S25 生駒 文一	S31 橋爪 鎮三	S41 長野 靖尚
S17 小川 清	S21 長尾 忠美	S25 佐野 二郎	S33 澤田 信儀	S42 落水 浩光
S17 吉田 武次	S21 森 和男	S25 豊田 宏	S33 柴田 大市	S46 木村 博史
S18 稲垣 金好	S22 市川 隆夫	S26 浅井 幹夫	S33 角谷 宏	S46 熊谷 幹夫
S18 戸谷 清一	S22 岩山 正明	S26 大寺 永	S34 小岩 義秀	S46 辻 俊博
S19 安藤 清暑	S22 加藤 生見	S26 岡田 恒	S34 杉浦 収	S48 白川 正博
S19 奥村 明	S22 加藤 政寿美	S26 小川 哲夫	S34 松波 正寿	S48 松崎 利益
S19 和田 郁雄	S22 中川 涉	S26 高木 利文	S34 松波 満昭	S48 松原 満樹
S19 渡邊 威	S22 浜松 満嘉	S26 林 勝二郎	S35 小塚 初義	S59 伊藤 松男
S19 山口 太吉	S23 伊藤 正彦	S26 渡部 博	S35 山崎 修	H7 井出 和之
S20 木村 勝	S23 酒井 義次	S28 寺本 克磨	S36 池浦 正	H8 長浜 大助
S20 出後 治	S23 佐野 任永	S28 町田 隆哉	S36 守安 澄治	
S20 野口 定男	S23 橋本 晃全	S28 山田 治明	S36 安原 斉	
S20 藤井 明夫	S23 橋本 成之	S29 奥田 昭一	S37 原田 積	

平成27年度、28年度に巴会に連絡頂いた方々を掲載しています。

学 内 報 告

〈人事異動〉

名古屋工業大学電気・機械工学科、大学院電気・機械工学専攻の機械工学分野について、次の人事異動がありました（敬称略）。

〈昇任〉

平成 29 年 4 月 1 日 教授 古谷 正広
平成 29 年 4 月 1 日 准教授 牧野 武彦

〈着任〉

平成 27 年 10 月 1 日 助教 山田 格
平成 28 年 1 月 1 日 助教 岩本 悠宏
平成 28 年 3 月 1 日 准教授 鈴木 政尋
平成 28 年 7 月 1 日 教授 浅野 勝宏
平成 29 年 4 月 1 日 教授 中村 匡徳

〈転属〉

平成 28 年 4 月 1 日 教授 渡邊 義見
理工工学科へ転属
平成 28 年 4 月 1 日 准教授 佐藤 尚
理工工学科へ転属

〈退職〉

平成 28 年 3 月 31 日 教授 松本 健郎
名古屋大学 教授へ転出
平成 28 年 3 月 31 日 准教授 出口 真次
大阪大学 教授へ転出

〈定年退職〉

平成 29 年 3 月 31 日 准教授 小島 之夫

〈卒業記念パーティー〉

卒業式と学位授与式が、平成 29 年 3 月 23 日に執り行われ、同日午後名古屋工業大学学生会館 1 階大食堂にて巴会主催の卒業記念パーティーが開催されました。辻秀武副会長の開会の辞に始まり、大西一会長と近藤邦治監事から祝辞をいただいた後に田川正人副会長の乾杯の発声があり、パーティーが始まりました。春の到来を感じさせる穏やかな陽気の中、恩師や同級生・先輩・後輩と歓談する姿が見られ、無事に卒業ができたことへの安堵と新



大西会長からの祝辞

たな道への期待に満ちた卒業生達の特別な表情が深く印象に残りました。またパーティーでは、学業成績優秀者の表彰、研究発表旅費受給者のスピーチも行われました。最後に北村憲彦理事から力強いエールが送られ盛会の内に終了となりました。

本年度の巴会賞とその他の各賞の受賞者は次の通りです（敬称略）。

☆巴会賞

北川大葵、佐藤涉、岩本好未

☆名古屋工業会賞

稲川陽介、山崎航平

☆日本機械学会山山賞

出島俊陽、富田真穂

☆日本機械学会三浦賞

石河雄太、水谷雄大

☆精密工学会東海支部学生優秀賞

元廣孝徳、横田悠樹

☆軽金属学会希望の星賞

前川和範



パーティーの様子



巴会賞受賞者

(写真左：岩本好未さん、
写真中：北川大葵君、写真右：佐藤涉君)

～ Voice of Students ～

＝ 学会発表を通して＝

西田研究室 山田浩毅

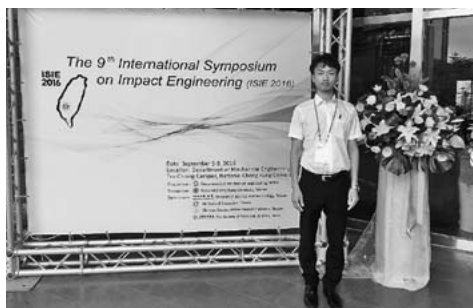
私は、2016年9月に台湾台南市の国立成功大学で行われたThe 9th International Symposium on Impact Engineeringにおいて「Finite Element Simulation and Experimental Studies on Projectile Perforation of Circular and Rectangular Plates」と題して研究発表を行ってきました。巴会から旅費援助を頂き無事に発表を終えられたので、ここに厚く御礼申し上げます。

私の研究では、航空機の機体の外板として使用されているアルミニウム合金薄板を供試体としてその衝撃破壊特性を球状飛翔体の衝突実験とシミュレーションの両側面から調べています。今回は衝突実験の結果とともに、シミュレーションで得られた飛翔体衝突時の衝突位置における供試体の応力状態や、亀裂発生速度、貫通限界速度などの破壊クライテリアについて発表してきました。

今回の発表に際しては海外の学会ということもありとても緊張しましたが、西田准教授の支援などを受け無事に発表を終えることができました。質疑応答でも参考になるコメントを頂けたのでこれからの研究につなげていこうと思えました。また、他の講演者の発表では様々な材料の衝撃特性を調べており大変興味深いものでした。

懇親会やエクスカージョンでは、海外の学生と交流し研究に対する意識や考え方などを知ることができ、とても刺激になりました。また、台湾の伝統料理を頂いたり、文化に触れることでまだまだ知らないことが海外にはたくさんあるのだと感じました。今後は海外へより高い関心を持ち、幅広い知見を得られるようにしたいです。

これからも、この院生学会出席補助制度を継続していただき、多くの学生に学会発表を経験してもらいたいと思っています。



学会会場にて

＝ 学会発表を通して＝

渡辺・佐藤研究室 杉浦貴泰

私は2015年11月14日に広島大学にて開催された第23回機械材料・材料加工技術講演会 (M&P2015) において「遠心力混合粉末法を用いて作製したAl基cBN傾斜機能砥石によるCFRPの穴あけ加工」と題して発表しました。その際に、巴会から講演会参加の援助を頂いたため、感謝の意を込めて、ここに報告いたします。本講演で、私はCFRPの新規穴あけ加工法として提案されているジャイロ式砥石穴あけ加工法に用いる砥石の開発に関する発表を行いました。ジャイロ式砥石穴あけ加工法に用いる砥石は、耐久性に優れた砥石を用いる必要があります。そこで、遠心力混合粉末法という傾斜機能材料作製技術により、砥粒を傾斜分散させたAl基メタルボンド傾斜機能砥石の開発をしました。また、ダイヤモンドとcBNの2種類の異なる砥粒を用いて砥石をそれぞれ作製し、砥粒の有用性について調査した結果を報告いたしました。

学会を通して研究に関する助言を頂き、さらに、他の方々の研究やその研究への取り組み方を学ぶことができ、大変勉強になりました。また、本学会において部門一般賞(新技術開発部門賞)の受賞が励みとなり、今まで以上に精を出して研究活動に取り組むことができました。

最後ではありますが、この学会発表を通して私が出た経験を、以降もより多くの学生にも経験していただけるように今後も巴会からの援助をお願い申し上げます。そして、私にこのような貴重な支援をして頂きましたこと、厚く御礼を申し上げます。



懇親会での受賞の様子

＝学会発表を通して＝

西田研究室 石田魁人

私は去る2015年7月に兵庫県神戸市の神戸国際会議場にて開催されたISTS(International Symposium on Space Technology and Science)30thにて「Crater Shape and Ejecta Size Distribution Resulting from Hypervelocity Impact of Spherical Projectiles on LPSO Type Magnesium Alloy」と題して発表してきました。巴会から講演会参加の援助を頂き、無事に発表を終えることが出来ましたので、ここに報告いたします。今回の講演で、私はLPSO型マグネシウム合金に対する超高速衝突による破壊特性に関する発表を行いました。新素材を宇宙用構造材として利用するためには、新素材の耐デブリ衝突耐性を把握する必要があります。本学会においては高強度・耐熱性を有し、軽量であるLPSO型マグネシウム合金に対してデブリを想定したアルミ合金球を超高速で衝突させた結果を報告しました。今学会は宇宙分野における国際学会であり、JAXA、NASAなど主要機関の研究者たちが数多く参加されています。私は今回が初めての国際学会であり、慣れない英語での発表でしたが、事前の

発表練習で研究室の仲間や指導教員の西田先生にご指導をいただき、無事に発表を終えることができました。学会を通じて研究に関する助言を頂き、また主要機関で行われている研究や取り組みを知ることができ、修士研究に大変参考になりました。

最後ではありますが、この学会発表を通して私たちが得た経験を、以降もより多くの学生にも経験していただけるように今後も巴会からの援助をお願い申し上げます。そして、私にこのような貴重な支援をして頂きましたことに厚く御礼を申し上げます。



学会の様子

ROAD TO DREAM !!

名古屋工業大学ものづくりテクノセンター付属 フォーミュラプロジェクト

大学講義を生かした実践形式の教育プロジェクト

当プロジェクトは、机上の講義を生かした“ものづくり”を実際に体験することで、若手エンジニアを育成する教育プログラムの一環として2002年に活動を開始しました。

毎年9月に行われる“全日本学生フォーミュラ大会”に出場するために、車両の設計・製作だけでなく、会計管理、資金調達、渉外スポンサー活動を初めとした運営マネジメントを学生のみで行っております。

昨年度大会では4年連続でエンデュランスを完走し、2年連続での3位表彰台を獲得することができました。しかし、目標としていた840pt獲得を達成することはできず、ヨーロッパから参加した強豪校ともタイム差をつけられ、悔しい結果となりました。今年度は多くの新技術開発を行い、海外チームに勝てる車両を用意しています。悲願の優勝を目指し、一層努力をしております。

私達の活動は自分たちの力だけでは続けていくことはできません。今年度も巴会の皆様に資金援助を戴き、このような素晴らしい活動が出来るこ

とに感謝申し上げます。大会後に良い結果を報告出来るようメンバー一同努力して参ります。今後ともよろしくお願い致します。



服部 誠司(ハットリ セイジ)

リーダー：機械工学科4年

名古屋工業大学11号館107室

Tel : 052-735-5629, Fax : 052-735-5634

Mail : nit.formula.project@gmail.com

http://www.qitc.nitech.ac.jp/formula/

平成 28 年度 卒業生の進路・就職先

■ 大学院 修了者

アイシン・エイダプリュ(株)
アイシン精機(株)
(株)アドヴィックス
出光興産株式会社
オークマ(株)
川崎重工業(株)
川重岐阜エンジニアリング(株)
関西電力(株)
(株)クボタ
KYB(株)
(株)神戸製鋼所
CKD(株)

(株)ジェイテクト
ジャパンマリンユナイテッド(株)
新日鐵住金
住友電装(株)
積水化学工業(株)
ダイキン工業(株)
大同メタル工業(株)
中菱エンジニアリング(株)
(株)デンソー
(株)デンソーウェーブ
(株)東海理化電機製作所
東邦ガス(株)

トヨタ自動車(株)
(株)豊田自動織機
トヨタ車体(株)
トヨタ紡織(株)
日東工業(株)
日本車輛製造(株)
株式会社ネオレックス
パイロットインキ(株)
パナソニック エゴシステムズ(株)
富士機械製造(株)
富士重工業(株)
ブラザー工業(株)

本田技研工業(株)
(株)マキタ
マツダ(株)
三菱電機(株)
(株)村田機械
ヤマハ発動機(株)
ヤンマー(株)
ユニプレス株式会社
リンナイ(株)
名古屋工業大学大学院

■ 学部 第一部 卒業生

愛三工業(株)
アイシン・エイダプリュ(株)
アイシン精機(株)
(株)青山製作所
(株)アドヴィックス
オークマ(株)
川崎重工業(株)

小島プレス工業(株)
新川センサテクノロジー(株)
ダイハツ工業(株)
デンソートリム(株)
豊田合成(株)
トヨタ自動車(株)
トヨタ車体(株)

ニッセイ
日本車輛製造(株)
日本航空(株)ト
日立造船(株)
富士機械製造(株)
本田技研工業(株)
ヤマハ発動機(株)

ヤマハモーターエンジニアリング(株)
名古屋工業大学大学院
名古屋大学大学院
京都大学大学院
東京工業大学大学院

■ 学部 第二部 卒業生

ヤマザキマザック(株)
名古屋工業大学大学院

(株)シーアールイー

ヤマザキマザック(株)

名古屋市

平成 27 年度 事業報告および会計報告

平成 27 年度 事業報告	
会報	「ともしえ」No.49 発行 H27.5
総会	名古屋工業大学 3 号館 2 階 0321 講義室 H27.6.20
講演会	名古屋工業大学 3 号館 2 階 0321 講義室 H27.6.20 演題:「ロボコンに見る高度技術者の片鱗 - 名古屋への社会的期待に応える学生たち -」 講師:名古屋工業大学 機械工学科 水野 直樹 教授 (S53)
総会付 随行事	(1) 研究室開放 ○渡辺・佐藤研究室 (担当:渡辺教授, 佐藤准教授) 内容:「遠心鋳造を利用した傾斜機能材料の開発に関する紹介」 ○石野研究室(担当:石野教授) 内容:「乱流燃焼計測のための瞬間三次元CT計測用 20 方向シュリーレンカメラ、ならびに町工場との共同開発・打ち上げ予定の液体ロケットエンジンなど、の紹介」 (2) 学生製作のフォーミュラカーの見学
懇親会	名古屋工業大学 校友会館 H27.6.20
支部	(1) 関西支部総会・懇親会 H27.7.4 海外同窓会(中国東北部) H27.9.13~17 ゴルフ会 H28.3.26 新年(懇話)会 H28.1.23 (2) 電影会・巴会(関東支部) 交流会 H27.6.13 関東支部秋の集い H27.11.7 ロボコン工房支援
学内 事業	(1) ソフトボール大会 (2) 工場見学会補助 (3) 巴会賞授与式および卒業記念パーティー (4) 院生学会出席補助 (5) フォーミュラカー製作補助
会議	理事会

平成 27 年度 会計報告(2015.4.1~2016.3.31)

【一般会計】

収 入		支 出	
前年度繰越金	1,924,988	会報発行発送費	1,189,620
クラス会費	40,000	支部補助	250,000
終身会費	1,350,000	総会/講演/懇親会	305,108
(卒業生)	(620,000)	学内事業補助	550,420
(在学生)	(730,000)	名簿整備費	282,272
総会懇親会参加費	156,000	会議費	28,852
受取利息	135	事務通信費	83,893
工業会名古屋支部補助	0	雑費	334
基金会計から補助	1,345,000		
寄付金	152,262		
		次年度への繰越	2,277,886
合計	4,968,385	合計	4,968,385

【基金会計】

収 入		支 出	
前年度繰越金	12,473,100	一般会計へ補助	1,345,000
受取利息	2,226		
		次年度へ繰越	11,130,326
合計	12,475,326	合計	12,475,326

平成 29 年度 巴会理事会・総会 議題資料

(1) 平成 29 年度役員名簿 (案)

会 長：大西 一 (S49)	監 事：学外・近藤 邦治 (S45)
副 会 長：学外・辻 秀武 (S50)	学内・水野 直樹 (教員)
学内・田川 正人 (教員)	最高顧問：山田 豊 (S22)
理 事：松浦 明人 (S47、関東支部長)	特別顧問：金原 淑郎 (S25)
掛田 健二 (S45、関西支部長)	顧 問：舩橋 鉦一 (S28)
宇佐美 勝 (S48)	山中 由男 (S29)
北村 憲彦 (教員)	石川 宏 (S30)
仙石 武広 (S59)	杉田 修啓 (教員)
石川 拓生 (S60)	岩本 悠宏 (教員)
塩見 正直 (S34)	早川 伸哉 (教員)
富田 庸公 (H01)	成田 政敏 (S35)
武内 博明 (H01)	江崎 俊夫 (S38)
大島 成通 (H02)	山田 学 (教員)
	田中 由浩 (教員)
	服部 桂 (S41)
	玉野 真司 (教員)
	泉 隼人 (教員)
	坂口 正道 (教員)
	保浦 知也 (教員)
	山田 格 (教員)

(2) 平成 28 年度 事業報告 (案) および平成 29 年度 事業計画 (案)

	平成 28 年度事業報告	平成 29 年度事業計画
会報		「ともえ」No.50 発行 H29.5
総会	名古屋工業大学 3 号館 2 階 0321 講義室 H28.6.18	名古屋工業大学 3 号館 2 階 0321 講義室 H29.6.17
講演会	名古屋工業大学 3 号館 2 階 0321 講義室 H28.6.18 演題：「長野靖尚先生を偲んで - 乱流伝熱研究の 50 年 -」 講師：名古屋工業大学大学院 電気・機械工学専攻 田川 正人 教授 (S58)	名古屋工業大学 3 号館 2 階 0321 講義室 H29.6.17 演題：運転支援システムの変遷とそのキー技術「走路面リスク予見技術」への取り組み 講師：名古屋工業大学大学院 電気・機械工学専攻 浅野 勝宏 教授
総会付随行事	(1) 研究室開放 ○成形加工学研究室 (担当：牧野助教) 内容：「マイクロ・メゾスケールの成形加工に関する研究の紹介」 ○熱移動工学研究室 (担当：田川教授、保浦准教授) 内容：「乱流伝熱および物質輸送現象に関する実験設備の紹介」 (2) 学生製作のフォーミュラカーの見学	(1) 研究室開放 ○ロボティクス研究室 (担当：佐野教授、田中准教授) 内容：「歩行・走行・触覚テクノロジーの紹介」 ○エネルギー変換工学研究室 (担当：石野教授、齋木助教) 内容：「燃焼研究とその周辺」 (2) 学生製作のフォーミュラカーの見学
懇親会	名古屋工業大学 校友会館 H28.6.18	名古屋工業大学 校友会館 H29.6.17
支部	(1) 関西支部総会・懇親会 H28.7.9 海外同窓会 (ミャンマー) H28.10.8~12 ゴルフ会 H28.9.17, H29.3.25 新年 (懇話) 会 H29.1.28 名工大フォーミュラプロジェクト支援 (2) 電影会・巴会 (関東支部) 交流会 H28.7.15 関東支部秋の集い H28.11.26 ロボコン工房支援	(1) 関西支部総会・懇親会 H29.7.1 海外同窓会 (モンゴル) H29.8.29~9.2 ゴルフ会 H29.9, H30.3 新年 (懇話) 会 H30.1.27 (2) 電影会・巴会 (関東支部) 交流会 H29.6 関東支部秋の集い ロボコン工房支援
学内事業	(1) 工場見学会補助 H29.1.18 (2) 巴会賞授与式および卒業記念パーティー H29.3.23 (3) 院生学会出席補助 (4) フォーミュラカー製作補助	(1) ソフトボール大会 (2) 工場見学会補助 (3) 巴会賞授与式および卒業記念パーティー (4) 院生学会出席補助 (5) フォーミュラカー製作補助
会議	理事会	理事会

(3) 平成 28 年度 会計報告案
(2016.4.1 ~ 2017.3.31)

(4) 平成 29 年度 予算案
(2017.4.1 ~ 2018.3.31)

[一般会計]

取 入		支 出	
前年度繰越金	2,277,886	会報発行発送費	1,039,132
クラス会費	10,000	支部補助	250,000
終身会費	980,000	総会 / 講演 / 懇親会	255,000
(卒業生)	(300,000)	学内事業補助	421,227
(在学生)	(680,000)	名簿整備費	292,339
総会懇親会参加費	83,000	会議費	83,559
受取利息	10	事務通信費	87,774
工業会名古屋支部補助	0	雑費	0
基金会計から補助	1,345,000	その他支出	0
その他収入	50,000		
		次年度へ繰越	2,316,865
合計	4,745,896	合計	4,745,896

[一般会計]

取 入		支 出	
前年度繰越金	2,316,865	会報発行発送費	1,200,000
終身会費	1,000,000	支部補助	250,000
(卒業生)	(200,000)	総会 / 講演 / 懇親会	300,000
(在学生)	(800,000)	学内事業補助	705,000
総会懇親会参加費	150,000	名簿整備費	300,000
受取利息	10	会議費	100,000
工業会名古屋支部補助	0	事務通信費	100,000
基金会計から補助	1,845,000	雑費	50,000
		次年度へ繰越	2,306,875
合計	5,311,875	合計	5,311,875

[基金会計]

取 入		支 出	
前年度繰越金	11,130,326	一般会計へ補助	1,345,000
受取利息	2,303		
		次年度へ繰越	9,787,629
合計	11,132,629	合計	11,132,629

[基金会計]

取 入		支 出	
前年度繰越金	9,787,629	一般会計へ補助	1,845,000
受取利息	1,000		
		次年度へ繰越	7,943,629
合計	9,788,629	合計	9,788,629

巴 会 会 歌

作詞 井上俊一(明四十三卒)
作曲 宮崎安兵衛(II)

一、正気籠れる東陵に
誓も堅き健児等が
健実の気風樹立して
不撓不屈の旗高し
フレフレ

二、高き自覚に溢る意気
確き自信に腕の業
若き健児が鍛え得し
稜々気骨の血は躍る
フレフレ

三、汚穢紛々の文明に
憂国義憤の人あらば
血潮と汗に清らけき
巴の健児が誠きけ
フレフレ

四、春妖香の霞わけ
秋壮烈の霜を踏み
集いて健児紫旗影に
永久の団結歌うなり
フレ機械フレ機械
フレ機械フレ機械
フレ機械フレ機械
フレ機械フレ機械

平成 29 年度 巴会理事会・総会のご案内

日時：平成 29 年 6 月 17 日(土)

場所：名古屋工業大学 3 号館 2 階 0321 講義室

理事会・総会 14:00～14:50

講演会 15:00～16:00

演題：運転支援システムの変遷とそのキー技術「走路面リスク予見技術」への取り組み

講師：名古屋工業大学大学院 電気・機械工学専攻 浅野 勝宏 教授

懇親会 16:10～

(校友会館 1 階 café sala にて)

会費：OB・OG 5,000 円、学生 500 円

(懇親会に出席される方)

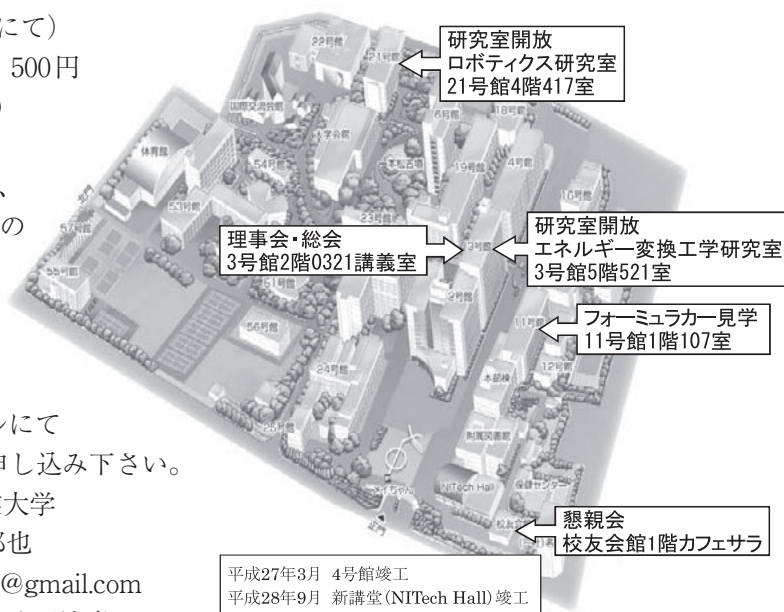
ただし、ご卒業後 5 年以内、
10 年目(平成 19(2007)年卒)、
40 年目(昭和 52(1977)年卒)の
OB・OG に関しましては、
特別に 3,000 円とします。
お誘い合わせの上、是非、
ご参加下さい。

申込：ハガキまたは電子メールにて
6 月 15 日(木)までにお申し込み下さい。

宛先：〒466-8555 名古屋工業大学
巴会庶務担当 藤井 郁也

E-mail: tomoekai.nitech@gmail.com

※自家用車の乗り入れは、なるべくご遠慮下さい。



巴会総会付随行事 [平成 29 年 6 月 17 日(土)]

○研究室開放：12:00～12:50

1. ロボティクス研究室 (担当：佐野教授、田中准教授) 21 号館 4 階 417 室
内容：「歩行・走行、触覚テクノロジーの紹介」
2. エネルギー変換工学研究室 (担当：石野教授、齋木助教) 3 号館 5 階 521 室
内容：「燃焼研究とその周辺」

○フォーミュラカー見学：13:00～13:20 11 号館 1 階 107 室

学生製作のフォーミュラカー見学 (プロジェクトリーダー：機械工学科 4 年生 服部 誠司 君)

上記の付随行事に参加希望の方は、時間内に総会受付 (3 号館 2 階 0321 講義室) にお越し頂ければご案内します。